

2025年度 大学院一般入試第3回 出題の意図

経済経営学研究科 修士課程 経済学専攻

科目	出題の意図
地域経済	地域産業の活性化の在り方の理解を問うものである。
経済学基礎理論	経済学基礎理論について、ミクロ経済学で重要な消費者行動と外部性の考え方についての理解を問うとともに、独占企業の行動について簡単な計算問題を解くことができるかを問うものである。

理工学研究科 博士前期課程 生命科学専攻

科目	出題の意図
専門科目 分子生物学	分子生物学分野に関して、基礎知識と理解の程度を問う。 マッキー生化学（第6版）5章 アミノ酸・ペプチド・タンパク質（5.1）、17章 核酸（17.1、17.2、17.3）、18章 遺伝情報（18.1、18.2、18.3）、19章 タンパク質の合成（19.1、19.2）
専門科目 分子細胞生物学	遺伝学に関して、基礎知識と理解の程度を問う。 「Essential細胞生物学（原著第3版）」より、以下の項目から出題する。 第19章「性と遺伝学」
専門科目 微生物学	・微生物学分野に関して、基礎知識の理解の程度を問う。 微生物学の基礎知識（50%）：①微生物の種類と分類、②微生物の細胞構造、③微生物の取扱い方 教科書（「微生物学」化学同人）の該当する箇所より2～3問出題する。 ・免疫は、生物の生命を護る重要な防御機構である。免疫担当細胞のはたらきとさまざまな敵と対峙する基本的な仕組みについて出題する。 教科書（「免疫（からだを護る不思議なしくみ）」東京化学同人）の第2章～第8章、第11章
専門科目 環境科学	「環境因子と人体」、「環境リスク評価と対策」、および「環境衛生分析」についての知識と理解の程度を問う。 環境衛生科学（南江堂） 環境因子と人体 pp. 21～71、環境リスク評価と対策 pp. 345～357、環境衛生分析各論 pp. 393～404 毒性の科学（東京大学出版会） 第1章 毒性学の基本概念 pp. 1～20
専門科目 基礎化学	化学分野に関して、基礎知識と理解の程度を問う。 ①化学反応とエネルギー、②膜電位 （参考図書： バイオサイエンスのための物理化学入門（丸善） p. 135～139、p. 187～196）
専門科目 分子機能学	生体を構成する分子の構造、ならびにその機能に関する基礎知識と応用について理解の程度を問う。 マッキー生化学（第6版）5章 アミノ酸・ペプチド・タンパク質（5.1、5.2、5.3、5.4）、6章 酵素（6.1、6.2、6.3、6.4、6.5） エッセンシャル構造生物学 2章

看護学研究科 修士課程

科目	出題の意図
専門科目 健康発達支援看護学	健康や発達に関する基礎的知識や用語を理解し、必要とする看護や自分の考えについて、論理的に思考し表現する力ならびに倫理観を問う。
専門科目 地域・療養支援看護学	臨床現場で生じる事象に対して、看護学の基礎的知識を応用し、根拠に基づく判断と実践を行う能力、ならびにその過程を論理的に表現する力を確認することを目的とする。
外国語	今後、研究者として外国語文献の情報収集や読解力が求められることから、医療を題材とした外国語問題を作成した。外国語長文を論理的に理解し、記述内容を的確に説明する能力を問う。